

令和6年9月30日  
釧路開発建設部

## 第37回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要について

令和6年9月17日（火）に開催しました第37回釧路開発建設部総合評価審査委員会の審議概要を、別紙のとおりお知らせいたします。

【問合せ先】 国土交通省 北海道開発局 釧路開発建設部

技術管理課 課長 樋口 飛鳥 電話：0154-24-7147

技術管理課 課長補佐 青山 英志 電話：0154-24-7174

釧路開発建設部ホームページ <https://www.hkd.mlit.go.jp/ks/>



### 第 3 7 回 釧路開発建設部総合評価審査委員会審議概要

開催日・場所	令和 6 年 9 月 1 7 日 (火) 釧路地方合同庁舎 5 階 第 1 会議室	
委員	委員長 草薙 敏夫 (独立行政法人国立高等専門学校機構釧路工業高等専門学校名誉教授) (公益財団法人釧路根室圏産業技術振興センター専務理事) 岸 徳光 (国立大学法人室蘭工業大学大学院特任教授) 宮森 保紀 (国立大学法人北海道大学大学院工学研究院教授) 宗岡 寿美 (国立大学法人北海道国立大学機構帯広畜産大学教授) 山本 泰司 (学校法人北海道科学大学教授)	
議事	1 報告 (1) 「釧路開発建設部 総合評価落札方式及びプロポーザル方式の実施状況」 2 審議 (1) 工事における総合評価落札方式の実施結果について ①一般国道 3 8 号 釧路市 中鶴野舗装工事 ②厚岸漁港－ 4. 0 m 岸壁改良工事 (2) 業務における総合評価落札方式の実施結果について ①釧路川水辺現地調査 (魚類・底生動物調査) 業務 ②根釧地域 排水路機能診断調査業務	
委員からの意見・質問、それに対する回答等		
意見・質問	回 答	
【1 報告】 (1) 総合評価落札方式及びプロポーザル方式の実施状況について ・業務の入札参加状況と落札結果において、技術者育成型の試行業務は応札者数が少ない傾向であると説明されたが、従来型に比べて参加要件が狭まるため、応札者数が少なくなっているのか。  【2 審議】 (1) 工事における総合評価落札方式の実施結果について (抽出された 2 件の工事について、概要説明及び審議を行った。)  ① 一般国道 3 8 号 釧路市 中鶴野舗装工事 「一般競争入札・施工能力評価型 I 型」 ・応札者の入札価格がほぼ同一で、更に調査基準価格に近い価格での入札となっているが、舗装工事は工事費の積算が容易なのか。  ・入札価格に差が付かなければ、加算点で差が付くように評価項目を設定する必要があるのではないのか。	・【若手・緩和】は、従来型と参加要件は変わらないが、【若手・管理技術者未経験者育成】は、過去に管理技術者として従事経験が無く、担当技術者として従事した業務が過去 5 年間で 5 件以上の実績を有する技術者を対象としており、参加要件が若干狭まっている。  (以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しない。)  ・積算基準が公表されていることから精度の高い工事費の積算が可能である。 また、本工事は舗装の A 等級であり全道の企業が応札可能であるため競争が高く、調査基準価格に近い価格で入札されたものと思料。  ・舗装工事では、舗装追加項目を設けることで加算点に差が付くようにしている。また、施工計画 (当該工事の留意事項) おいて、評価に差が付くようなテーマ設定を心掛けている。	

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問	回答
<p>② 厚岸漁港－４．０m岸壁改良工事 「一般競争入札・施工能力評価型Ⅰ型」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・一般競争入札参加資格一覧表にある漁港追加項目の加点は、入札順位証明書などの評価項目に含まれているのか。</li> <li>・施工体制の評価点が、全ての企業で満点評価となっており評価に差が付かない原因の１つとなっているのではないかと。評価に差が付かないのであれば評価項目から削除してもよいのではないかと。</li> <li>・この工事では本土工（鋼矢板）の施工は行われないのか。</li> <li>・掘削で発生した土砂の使用用途を教えてください。</li> </ul> <p>(2)業務における総合評価落札方式、プロポーザル方式の実施結果について (抽出された２件の業務について、概要説明及び審議を行った。)</p> <p>① 釧路川水辺現地調査（魚類・底生動物調査）業務「簡易公募型競争方式（総合評価（簡易型）」</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・入札価格に差が見られない理由は。</li> <li>・本調査は、全国各地で実施されている調査であると思うが、この調査に精通している業者は限られているのか。</li> <li>・アドバイザー会議を開催することとなっているが、アドバイザーからの指導・助言はどのように反映されているのか。</li> <li>・例えば陸上生物で５年前は生息していたが、５年後には見られなくなったと云うような話は出てくるのか。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・企業の評価項目に含まれている。</li> <li>・施工体制の評価は、各社から提出される申請書類を審査し、問題があった場合に減点評価するものである。また、低入札の場合には厳正な審査を行ったうえで減点評価とする場合がある。</li> <li>・本工事では、背後の掘削と鋼杭工までの施工を行っており、今年度発注する工事では本土工（鋼矢板）の施工を行う。</li> <li>・一部は埋戻土として利用するが、大半は町有地に仮置きをしている。現時点で漁港事業での使用予定が無いため、町に引渡しをして有効活用していただく予定である。</li> </ul> <p>(以下、応札者の提案又はその評価に係わる内容は技術提案に関する機密保持の観点から記載しない。)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・本業務は見積徴収方式を取っており、採用した見積もりを閲覧資料として公示しているため、入札価格に差が見られなかったと思料。</li> <li>・現状では、本業務に入札に参加している７社が過去の業務実績などから調査に精通した業者であると考え。</li> <li>・調査の実施段階からアドバイザーの方から助言をいただき、調査の実施内容に反映している。また、調査結果についても課題の抽出などの助言をいただき最終的な成果の取り纏めに反映している。</li> <li>・実際その様な話は出ており、逆のパターンではあるが、新たな生物の生息が確認されたケースがあり、アドバイザーの方からの考察をいただいている。</li> </ul>

委員からの意見・質問、それに対する回答等

意見・質問

回答

- ・入札率が80%以下と他の工事・業務と比べて低い割合となっている理由は。
- ・調査基準価格の割合は公表されているのか。

② 根釧地域 排水路機能診断調査業務  
「簡易公募型競争入札（総合評価（簡易型）」

- ・落札率が88%と先ほど説明のあった業務に比べると高い割合となっているが、発注時期が年度末と年度当初では落札率に違いが生じるものか。例えば、年度末は受注意欲が高まり落札率が低下する傾向になるなど。
- ・機能診断調査を行う3地区について、整備年次にバラツキが見られるが、本調査はどれくらいのスパンで実施されているのか。

【上記、工事・業務について適切な評価と認める。】

- ・調査基準価格に近い価格となっていることから、各企業とも受注意欲が高かったものと思料。
- ・調査基準価格を算定するための各係数は、公表されている。

- ・機能診断業務における過去の入札結果を見ると、全道的にも同等の落札率となっていることから、発注時期の違いよりも業務内容の違いが影響しているものと思料。

- ・調査対象施設における1巡目の機能診断調査は既に行われており、これ以降は老朽化が進行している施設を優先して10年を目処に繰り返し調査を実施する。

以上